

回復期リハビリテーション病棟
インディケーター
2023年度

1-1 リハビリテーション実施単位数

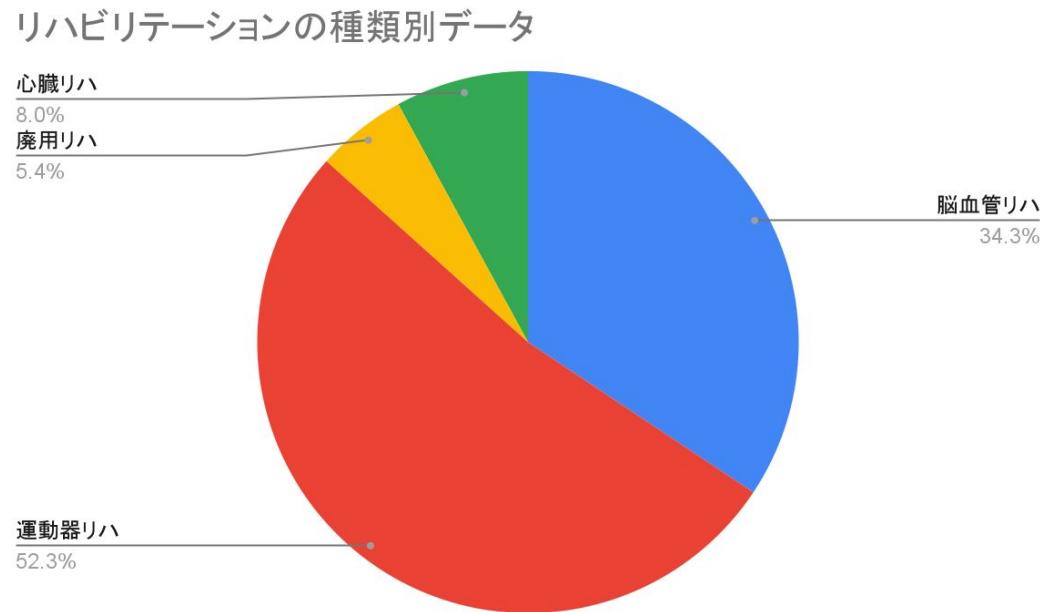
①患者一人当たりのリハビリ単位数 月別

当院では、一日平均6.3単位(1単位20分)の個別リハビリテーションを提供しています

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
全体	5.71	6.97	6.76	6.08	6.37	6.56	6.31	6.37	6.08	6.02	6.38	6.01	6.30
脳血管リハ	7.02	8.19	7.71	6.98	7.46	7.91	7.64	7.74	7.22	7.13	7.69	6.93	7.47
運動器リハ	5.38	5.86	5.58	5.27	5.36	5.14	4.98	4.92	4.98	5.13	5.15	4.93	5.22
廃用リハ	6.72	7.44	6.20	5.70	5.28	5.96	5.42	4.95	4.89	4.82	5.34	5.84	5.71
心大血管リハ	3.88	4.43	4.89	4.27	5.28	5.43	5.04	5.37	5.93	5.93	4.89	4.94	5.02

1-2 退院患者(n=592)

①疾患別患者割合

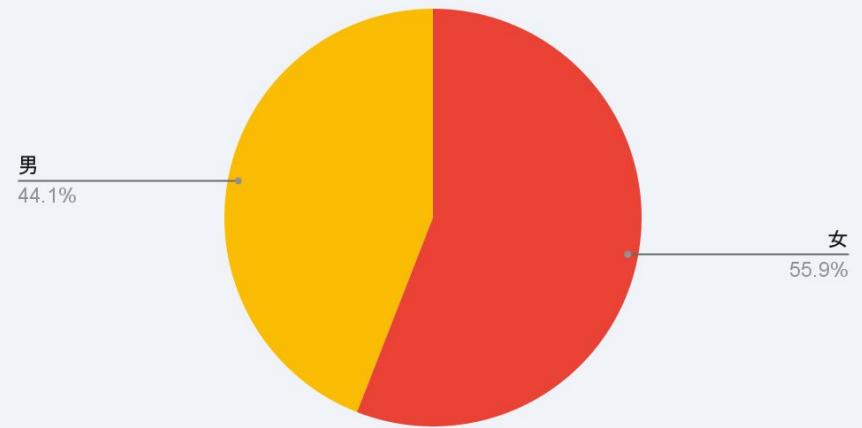


②年齢・性別構成

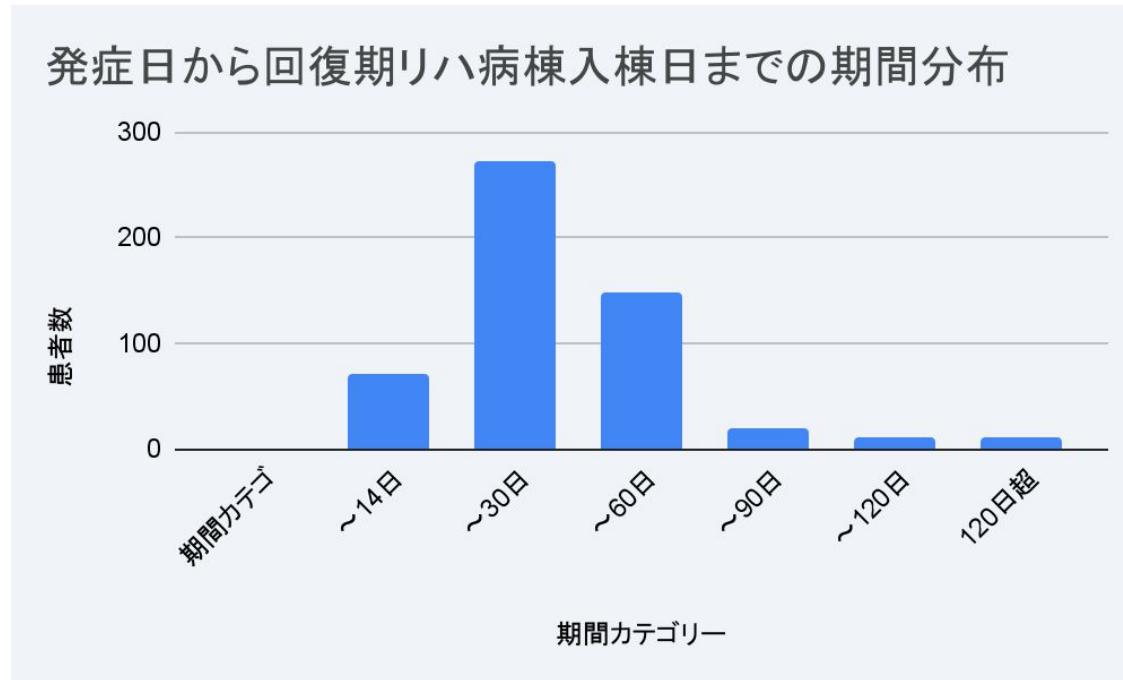
年代別構成の分布



性別構成



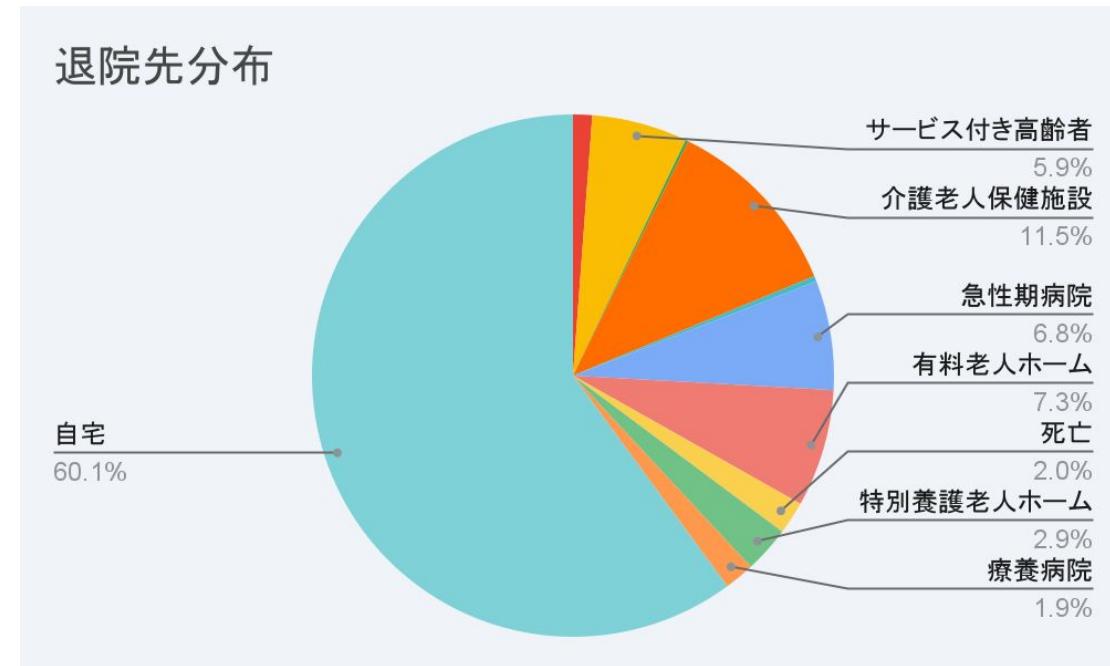
③発症～回復期入棟日までの期間分布



④単純在院日数



⑤退院先



⑥リハビリテーション実績指標

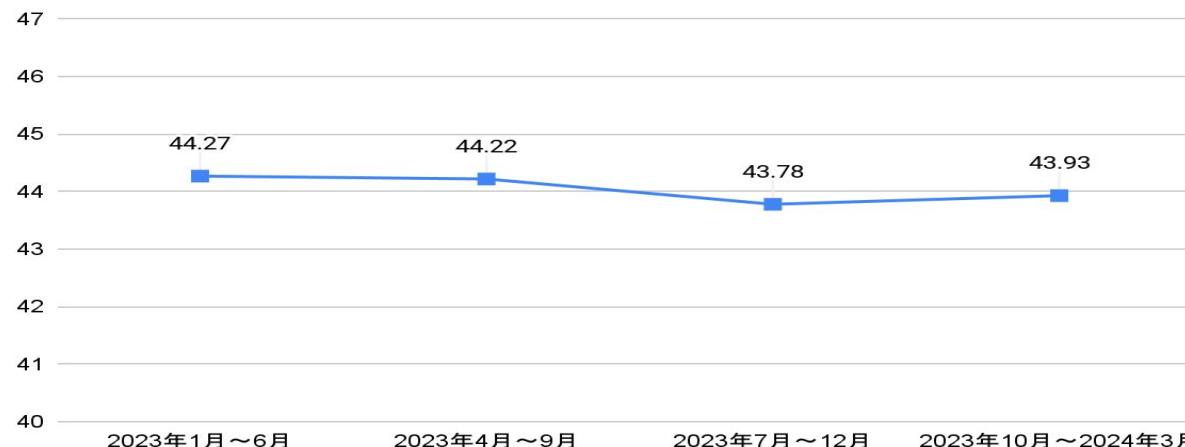
リハビリテーション実績指標とは、FIM得点の改善度を、患者の入棟時の状態および在院日数を踏まえて指数化したものです。以下の式により算出します。

【参考】 実績指標の計算式

$$\text{実績指標} = \frac{\text{各患者の (FIM 得点『運動項目』の、退棟時と入棟時の差) の総和}}{\left(\frac{\text{入棟から退棟までの在棟日数}}{\text{状態ごとの回復期リハビリテーション病棟入院料の算定上限日数}} \right) \text{の総和}}$$

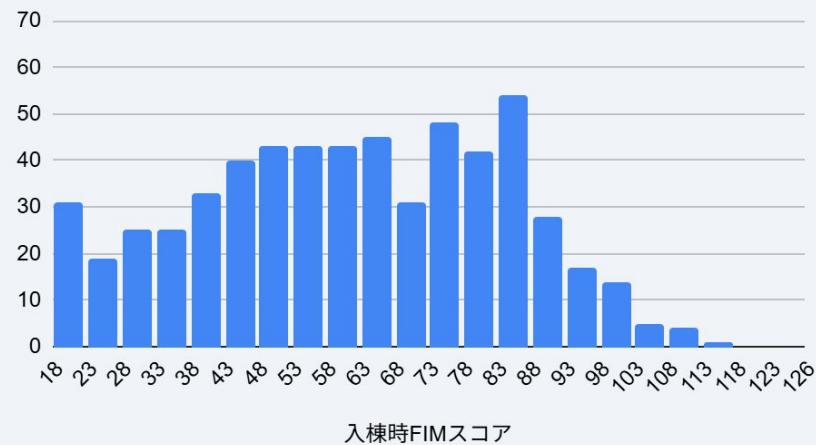
厚労省の定めた基準では、この実績指標が「27以上」であれば、一定の基準以上のリハビリテーションを提供していると判断されます。当院が取得している「回復期リハビリテーション病棟入院料1」では、実績指標が「40以上」であることが要件となります。

リハビリテーション実績指標

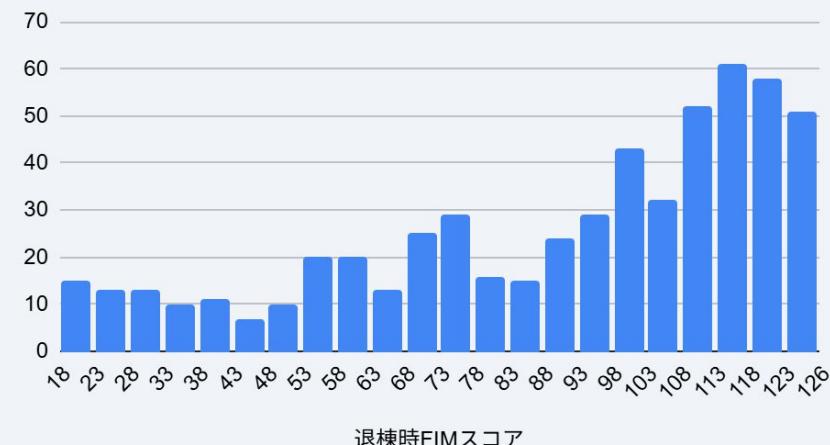


⑦日常生活自立度(FIM)について

入棟時FIMの分布

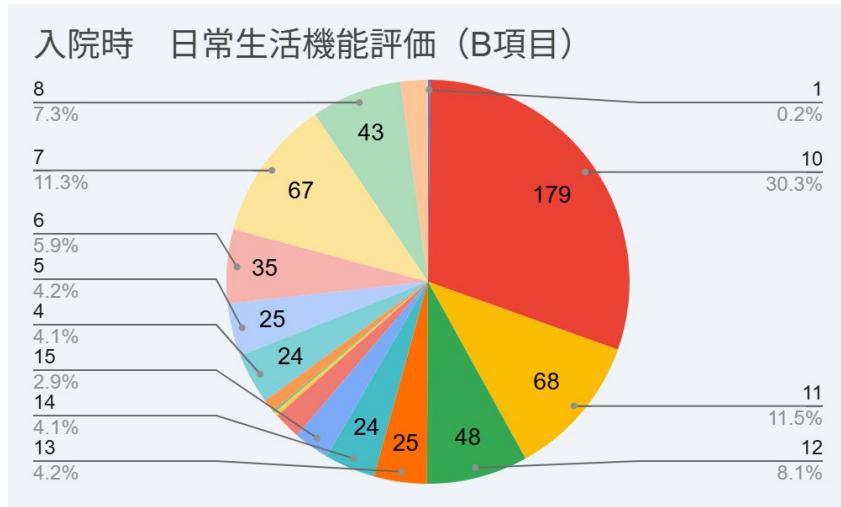


退棟時FIMの分布



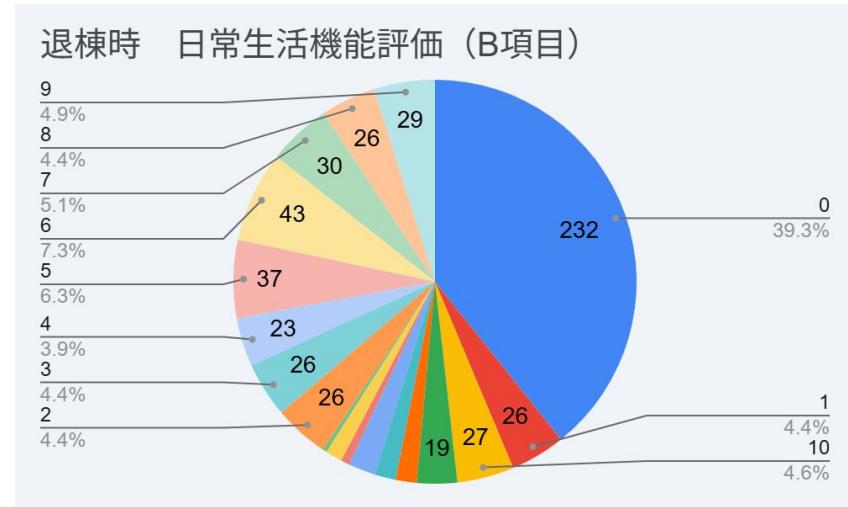
FIM利得(退棟時FIM-入棟時FIM)の平均値は27.43点でした。

⑧日常生活機能評価(B項目)



※重症患者受入割合

新規に入院した患者のうち、日常生活機能評価(B項目)が10点以上の患者が占める割合



※重症者改善率

回復期リハ病棟に入院した重症患者のうち、リハビリテーションによって日常生活機能が一定以上に改善した患者の割合を示す指標

1-3 その他調査

①自宅退院患者の当院生活期リハサービス移行率

※当院の回復期リハ病棟から自宅に退院された方の内、当院の訪問・通所・外来リハ、老健はくほうのデイサービスへ移行した方の割合を示す

当院生活期リハサービスへの移行率



生活期リハ移行先別の割合

